

## 組織率70%へ向けて！

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
会長 富田 博信



本年6月より、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の会長に就任致しました。このような責任ある重要な役職を拝命させていただき、大変光栄に思っております。田中宏前会長をはじめとする諸先輩方が築きあげてきた、本会は、昭和26年に発足して以来、約70年にわたり、診療放射線技師の専門性と倫理性の向上、学術活動の推進、会員相互の連携と交流、地域社会への貢献などを目的として活動してまいりました。現在、会員数は過去最高の1,439人で、全国でも有数の規模を誇る診療放射線技師会です。このような歴史ある会の新しい執行体制の一員として、今までの伝統と実績を重んじつつ、今後さらなる発展に向けて全力で取り組んでまいりたいと思っております。引き続き、既存の認定事業なども継続しつつ、診療放射線技師の知識と技術を高めるためのセミナーを定期的で開催するなど学術セミナーを充実させたいと思っております。またオンラインでの参加も可能なWebセミナーも積極的に実施したいと思います。

さらに、他県の診療放射線技師会や関連団体と連携し、情報交換や意見交流を行うことで、協調と協業を図ります。そして今後の執行部を担う次世代の委員・理事には、屋根瓦方式の教

育を推奨し、経験やノウハウを効率的に伝承しながら、次世代のリーダーの育成を図りたいと思います。さらに、役員間のコミュニケーションや連携を強化し、一丸となり新たな業務に対しての告示研修についても、計画的に開催することで既卒診療放射線技師の皆さまの受講率向上に努めます。

われわれ地域の診療放射線技師会は、日本診療放射線技師会（JART）とも密接に連携し、全国的な課題や政策提言などに積極的に参画することも忘れてはなりません。県内の会員から寄せられる意見や要望を定期的に収集し、分析することでニーズをリサーチし、会員が求めるサービスや支援内容を把握、反映できればと思います。

最後に、現在約60%である埼玉県内の診療放射線技師の組織率（本会への加入率）を70%まで引き上げることを目標とします。これにより、本会の発言力や影響力を高めるとともに、会員間の連帯感や一体感も強化します。もちろんこれらは一朝一夕に実現できるものではありませんが、皆さま方のご理解とご協力があれば必ず成果が出ると信じております。引き続き、ご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。